

第11回振興部会

大糸線およびJR大糸線増便バス 振返り（4月－2月）

2026年3月12日
大糸線活性化協議会

1. 調査概要

利用者動向や大糸線及び増便バスの感想等、意見を集約することを目的に、乗込みでアンケート調査を実施

2. 実施内容

①調査日程	2025年 4月24日（木）～4月27日（日）	10月18日（木）～10月21日（日）
	5月 8日（木）～5月11日（日）	11月 6日（木）～11月 9日（日）
	6月19日（木）～6月22日（日）	12月25日（木）～12月28日（日）
	7月24日（木）～7月27日（日）	1月22日（木）～1月25日（日）
	8月21日（木）～8月24日（日）	2月19日（木）～2月22日（日）
	9月18日（木）～9月21日（日）	

②対象列車 調査日の全ての鉄道および増便バス
※人数カウントについては、鉄道は調査日のみ・増便バスは全てで実施

③対象者 対象の列車および増便バスに乗車されている全てのお客様

④実施方法 アンケートによる記入方式

■月別 J R 大糸線増便バスご利用実績 2025年4月 - 2026年2月 (人)

利用実績	利用者数	調査日数	一日平均	一便あたり平均	(参考) 一列車あたり平均
2025年4月	186	4	46.5	7.8	9.2
2025年5月	159	4	39.8	6.6	6.2
2025年6月	125	4	31.3	5.2	8.9
2025年7月	190	4	47.5	7.9	10.3
2025年8月	282	4	70.5	11.8	10.8
2025年9月	195	4	48.8	8.1	6.1
2025年10月	174	4	43.5	7.3	9.9
2025年11月	158	4	39.5	6.6	10.4
2025年12月	307	4	76.8	12.8	9.3
2026年1月	251	4	62.8	10.5	—
2026年2月	298	4	74.5	12.4	11.6

■累計 (推計値) 2025年4月 - 2月 (人)

利用者数	一日平均	一便あたり平均
11,141	52.8	8.8

■累計 (推計値) 2024年6月 - 3月 (人)

利用者数	一日平均	一便あたり平均
23,317	76.7	9.6

※参考2024年度実績

一便あたり平均は8.8名程度であり、年間を通じ輸送力としてはバスで対応可能

■便別 J R 大糸線増便バスご利用実績 2025年4月 - 2025年11月(各月4日間計) (人)

	1便	3便	5便	2便	4便	6便	計
	白8:10発	白13:40発	白16:40発	糸11:55発	糸14:10発	糸16:00発	
2025年4月	37	48	4	34	48	15	186
2025年5月	33	30	10	36	30	20	159
2025年6月	43	25	4	22	25	6	125
2025年7月	34	59	11	29	41	16	190
2025年8月	42	69	10	77	41	43	282
2025年9月	23	75	7	22	36	32	195
2025年10月	49	34	7	31	27	26	173
2025年11月	32	30	23	28	29	16	158
1日平均	9.2	11.6	2.4	8.7	8.7	5.4	45.9

※白 = 白馬 糸 = 糸魚川

(参考) ご利用最大：50名/便 <8月24日(日) 第2便>

1便～4便といった北陸新幹線や大糸線と接続する日中時間帯のご利用が多く、
5便～6便といった夕方に運行する便のご利用は少ない

■便別 J R 大糸線増便バスご利用実績 2025年12月 - 2026年2月(各月4日間計) (人)

	1便	3便	5便	2便	4便	6便	計
	白9:05発	白10:50発	白17:00発	糸7:15発	糸14:00発	糸21:35発	
2025年12月	69	103	35	11	82	7	307
2026年1月	36	99	24	3	75	14	251
2026年2月	79	97	34	13	60	15	298
1日平均	15.3	24.9	7.8	2.3	18.1	3.0	71.3

※白 = 白馬 糸 = 糸魚川

(参考) ご利用最大：41名/便 <2月21日(日) 第4便>

1便、3便、4便といったチェックアウト、チェックインにマッチした時間帯のご利用が多く、
5便、6便といった早朝・夕方・夜間に運行する便のご利用は少ない

■月別 J R 大糸線ご利用実績 2025年4月 - 2026年2月 (人)

	利用者数	調査日数 (木～日)	一日平均	一列車平均	(参考)バス一便あたり平均
2025年4月	701	4	175	9.2	7.8
2025年5月	470	4	118	6.2	6.6
2025年6月	676	4	169	8.9	5.2
2025年7月	789	4	197	10.3	7.9
2025年8月	819	4	205	10.8	11.8
2025年9月	465	4	116	6.1	8.1
2025年10月	752	4	188	9.9	7.3
2025年11月	789	4	197	10.4	6.6
2025年12月	706	4	177	9.3	12.8
2026年1月※	30	4	7.5	0.4	10.5
2026年2月	879	4	220	11.6	12.4

※調査日に雪害による運休が発生のため、特異値（通常よりも低い値）となった

■累計（調査日） 2025年4月 - 2月 (人)

利用者数※	一日平均※	一列車平均※
7,046	176.1	9.3

※1月実績は平均値から除外

■調査日 2024年6月 - 3月 (人)

利用者数	一日平均	一列車平均
7,862	196.6	9.8

参考2024年度実績

最もご利用が多かった2月でも 1 列車平均は11.6名程度であり、輸送力としてはバスで対応可能

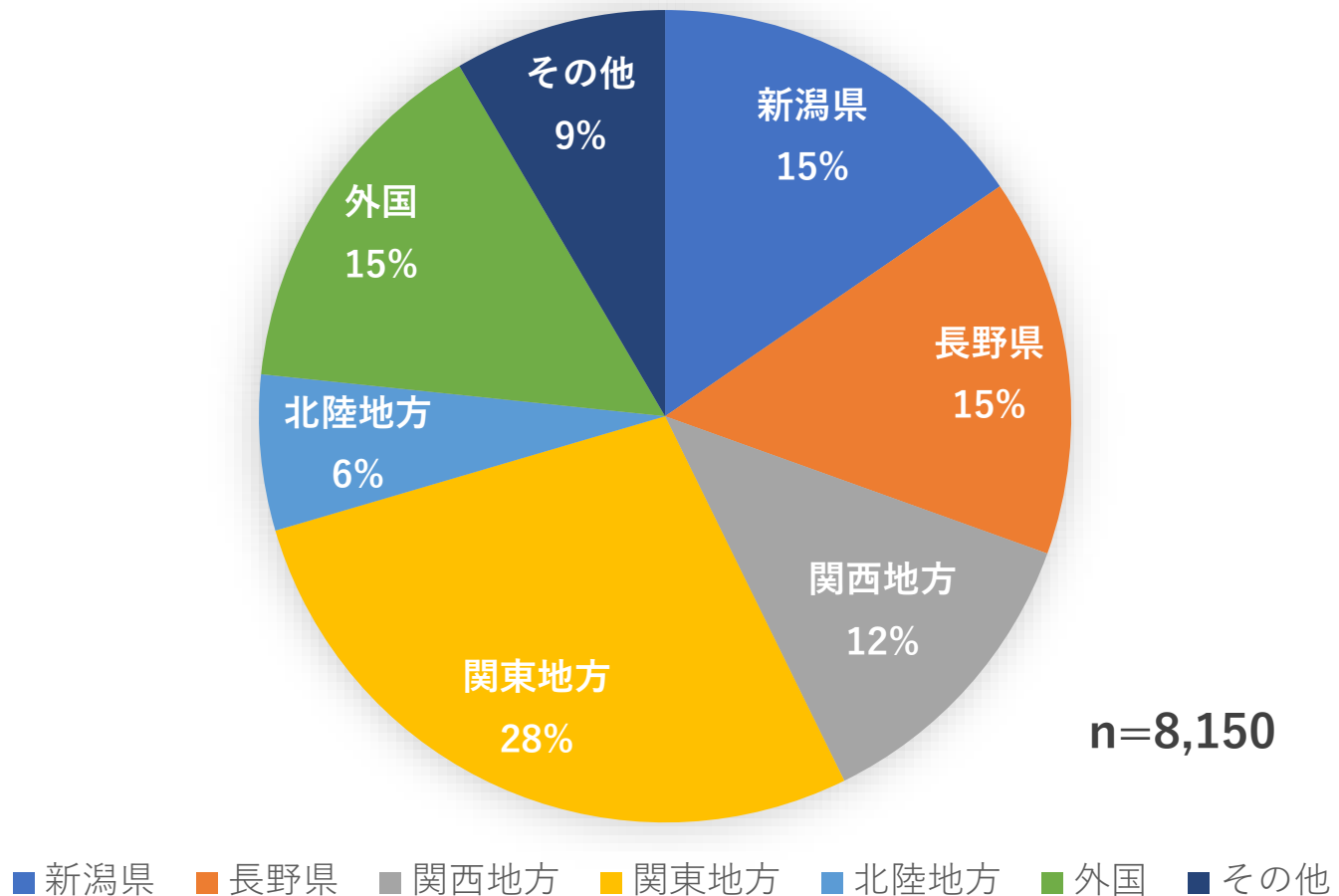
■ 運休日数および運休本数 2025年4月-2026年2月

	運休日数	運休本数
JR大糸線（鉄道）	32	345
JR大糸線増便バス	0 ※	0 ※

※白馬～北小谷間の一部区間運休は発生

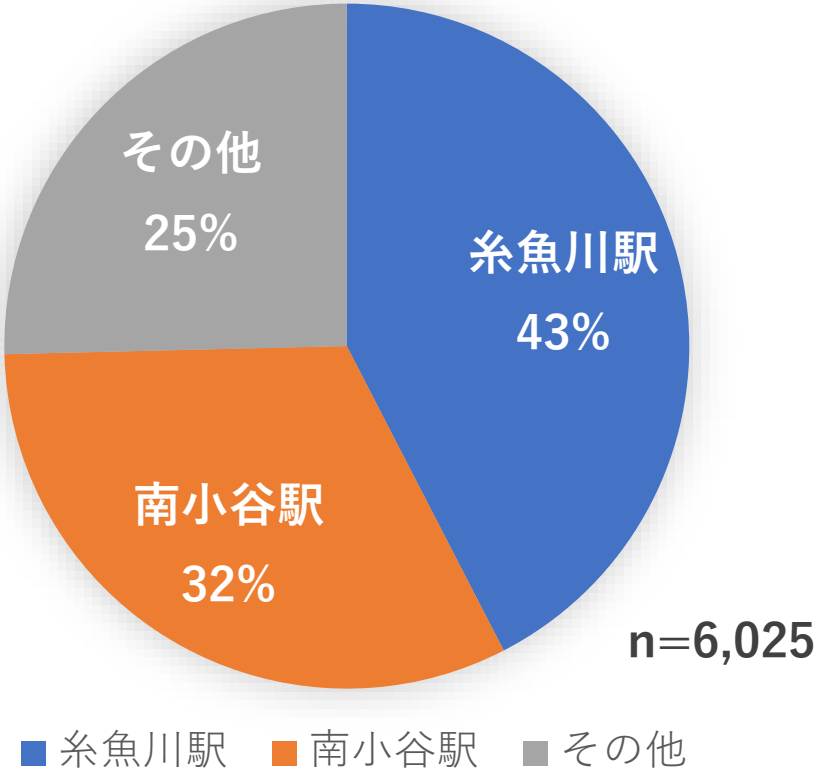
- ・ 大糸線は大雪21件、大雨6件、強風3件、落石1件、踏切立ち往生1件の計32件（345本）の運休が発生
- ・ 一方、JR大糸線増便バスの運休は発生しなかった

どちらからお越しになりましたか？

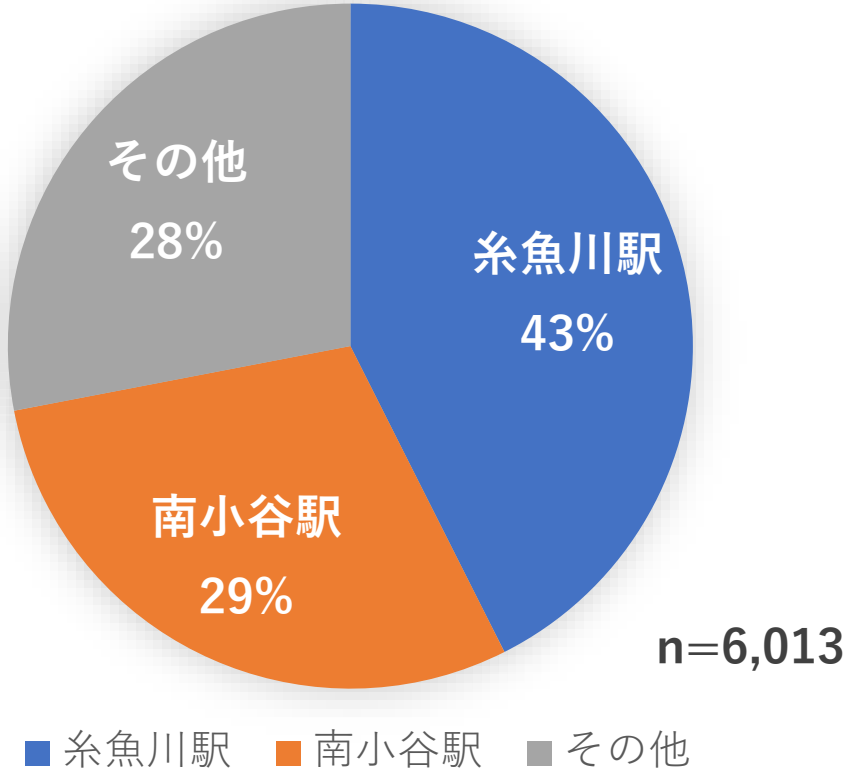


地元（新潟県・長野県）以外のご利用が約70%を占める

乗車された駅はどこですか？



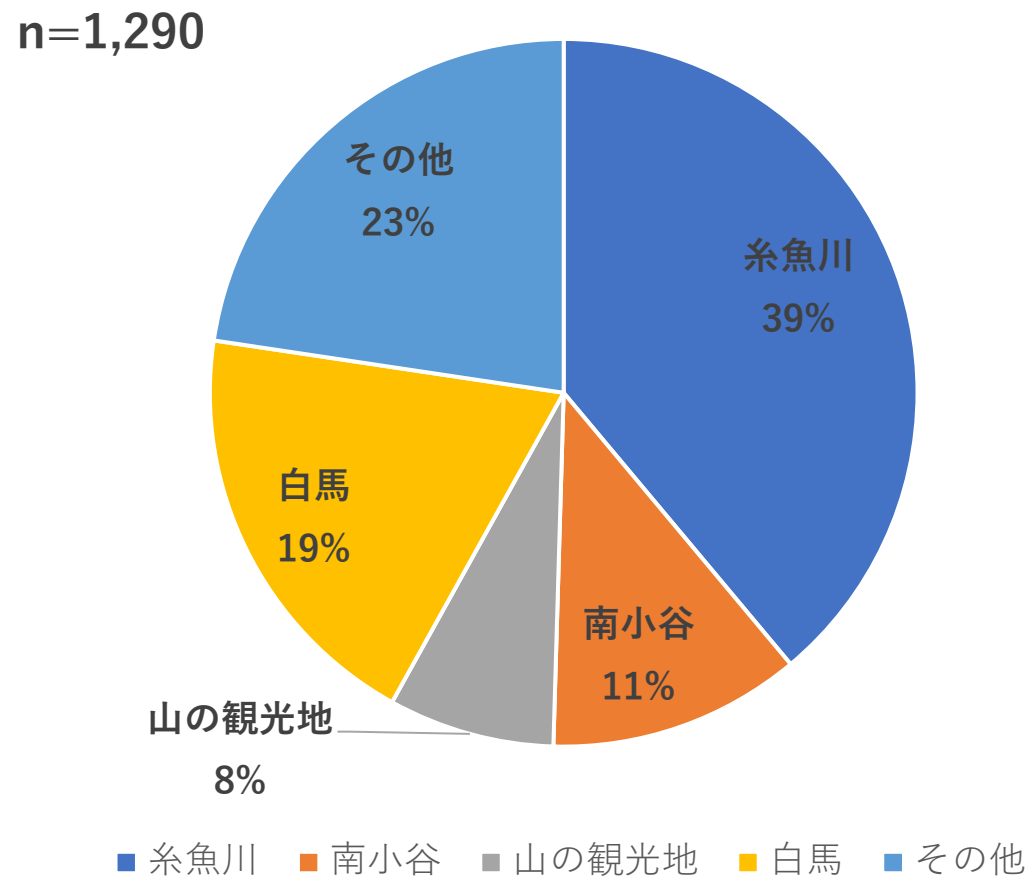
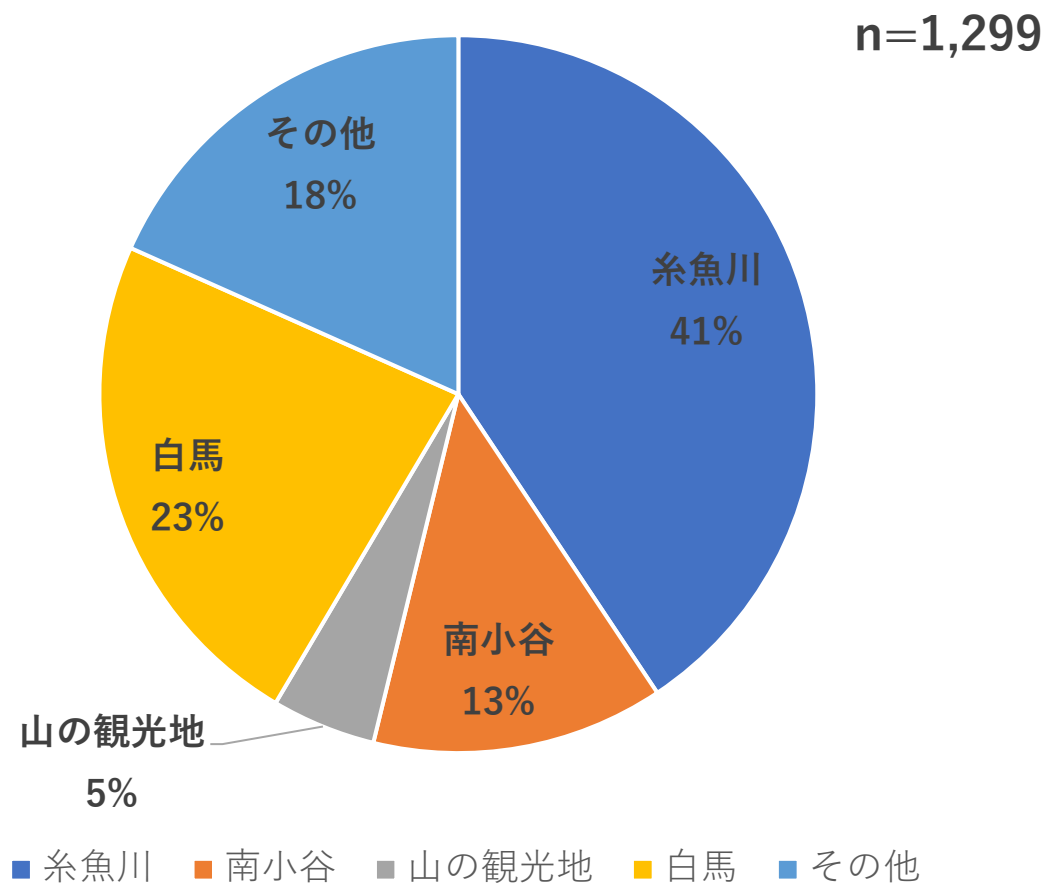
降車される駅はどこですか？



糸魚川駅、南小谷駅、といった拠点の利用が約7割を占める

乗車された駅はどこですか？

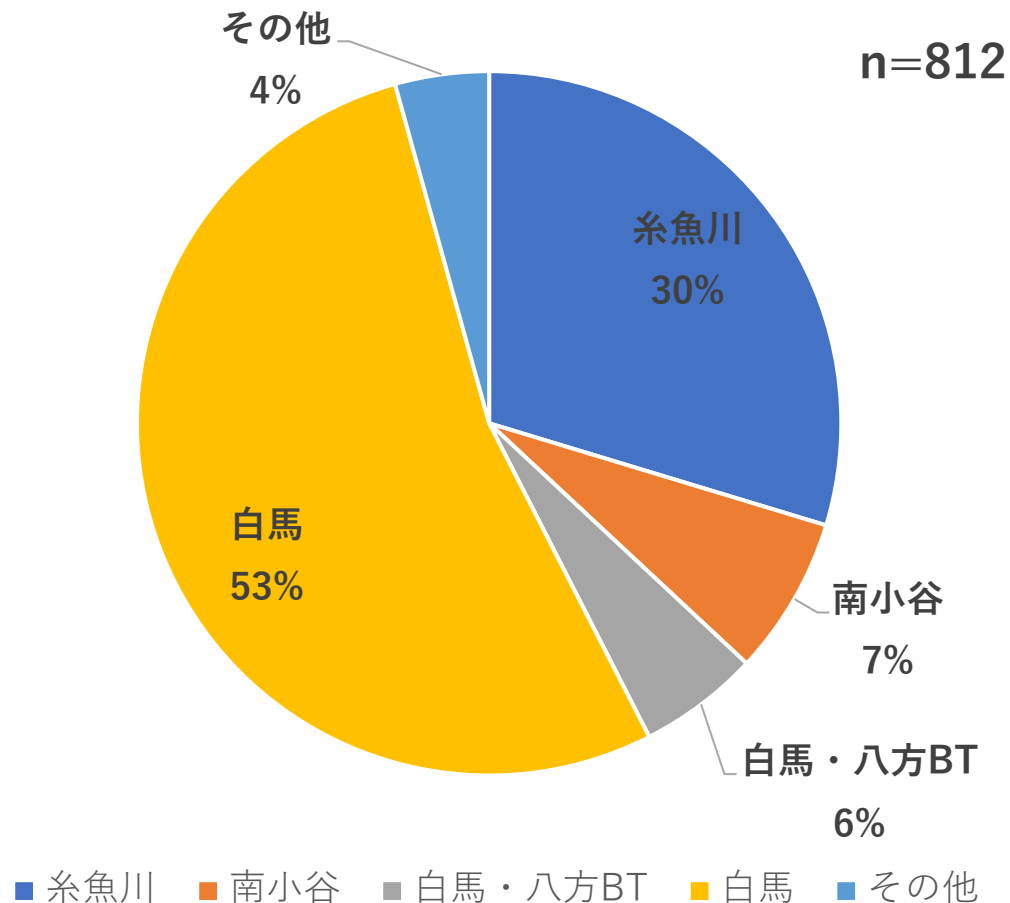
降車される駅はどこですか？



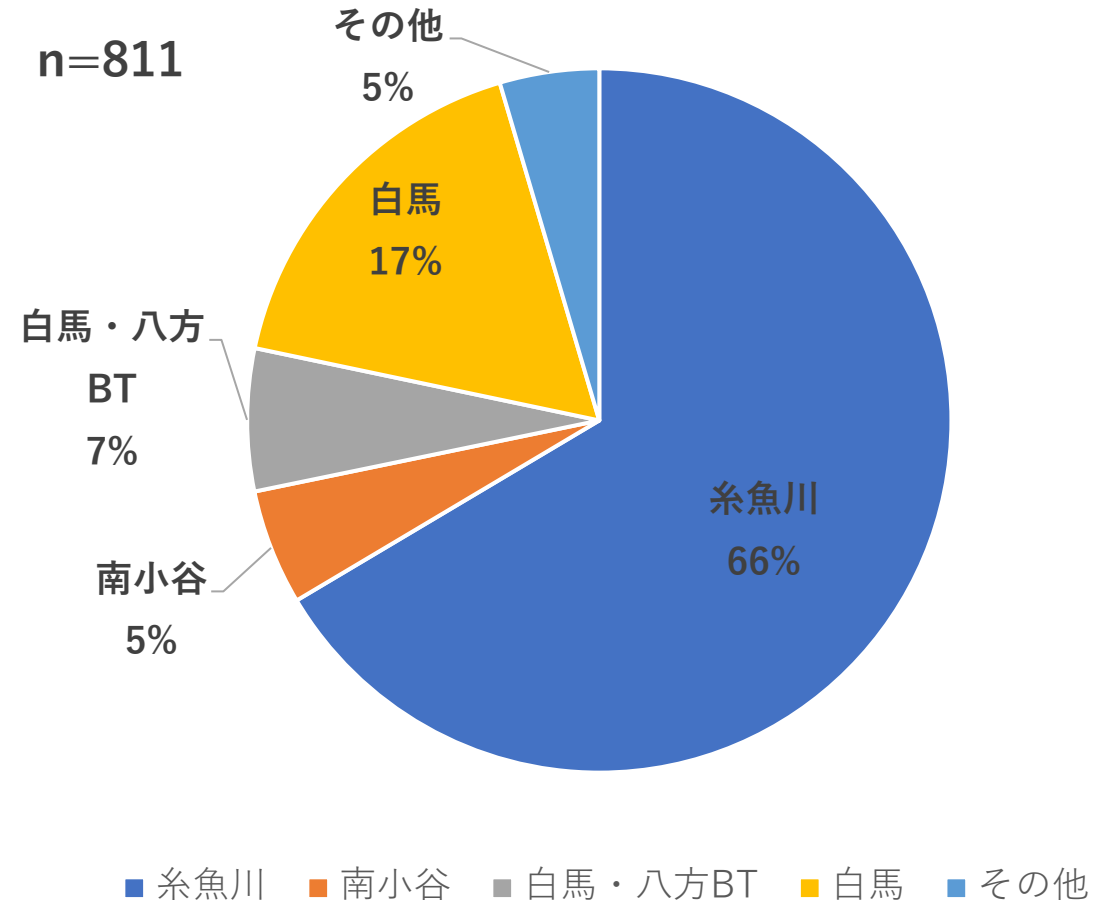
※山の観光地／白馬八方バスターミナル、白馬岩岳、梅池高原、白馬乗鞍

糸魚川駅、南小谷駅、白馬駅といった拠点におけるご利用が
乗車場面では約8割・降車場面では約7割を占めている

乗車された駅はどこですか？

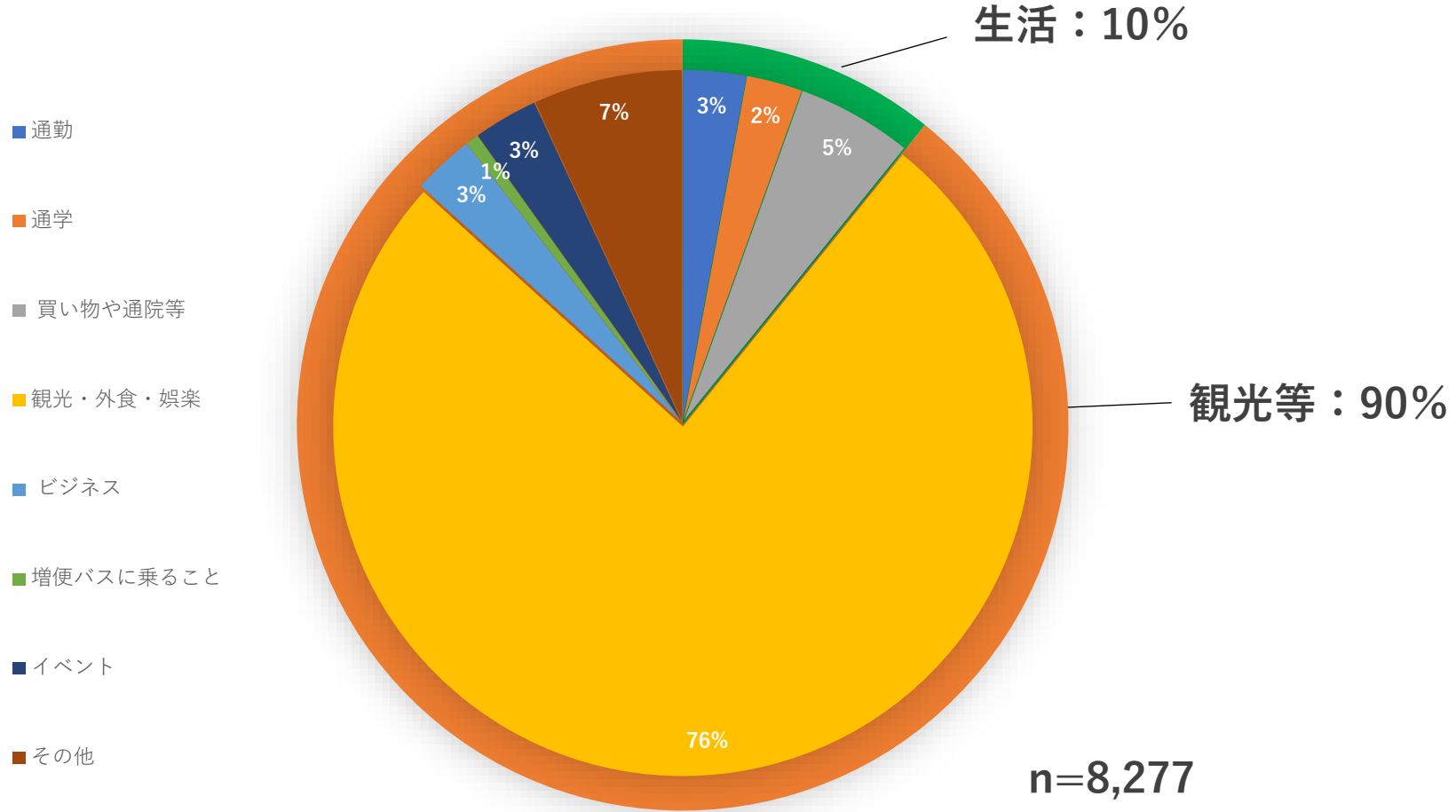


降車される駅はどこですか？



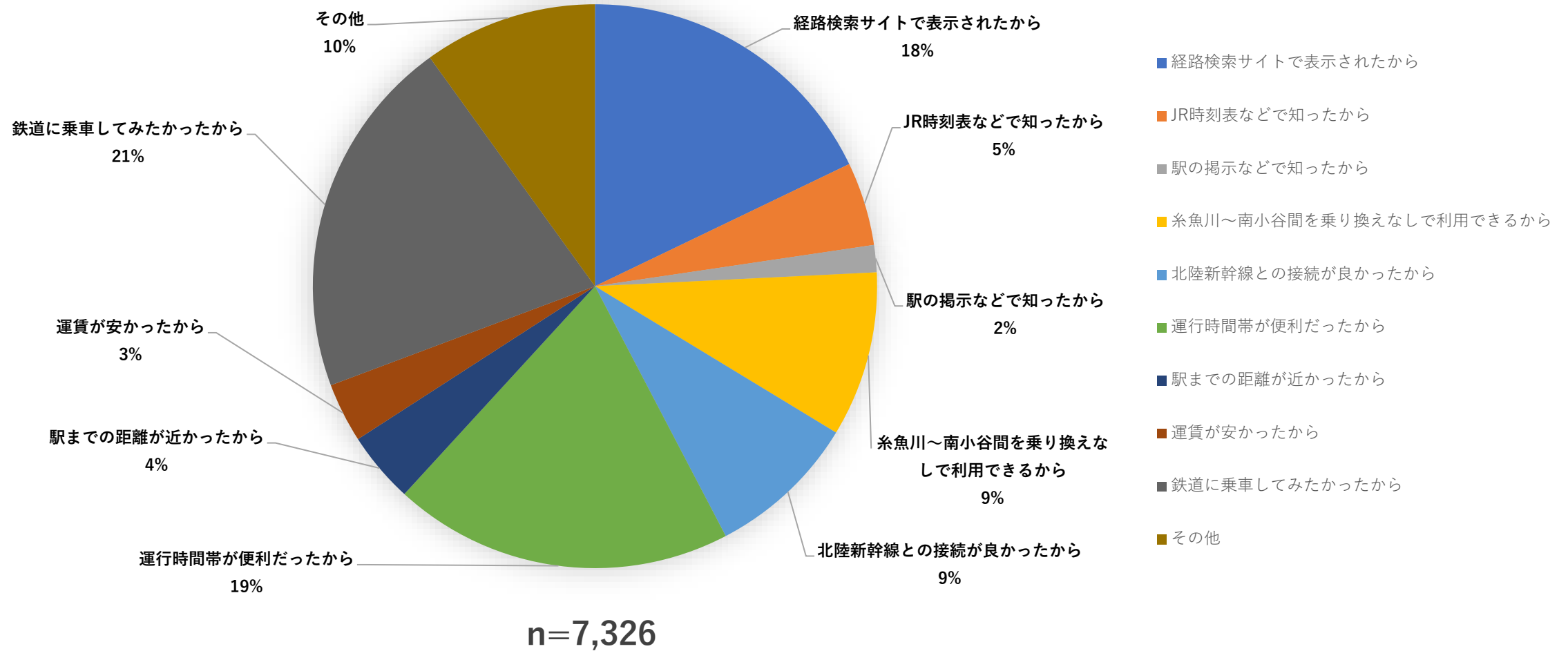
冬期については、糸魚川駅・白馬駅におけるご利用が半数以上を占めており、乗車場面では白馬駅が約5割・降車場面では糸魚川駅が約7割を占めている

ご利用目的は何ですか？ <複数回答>



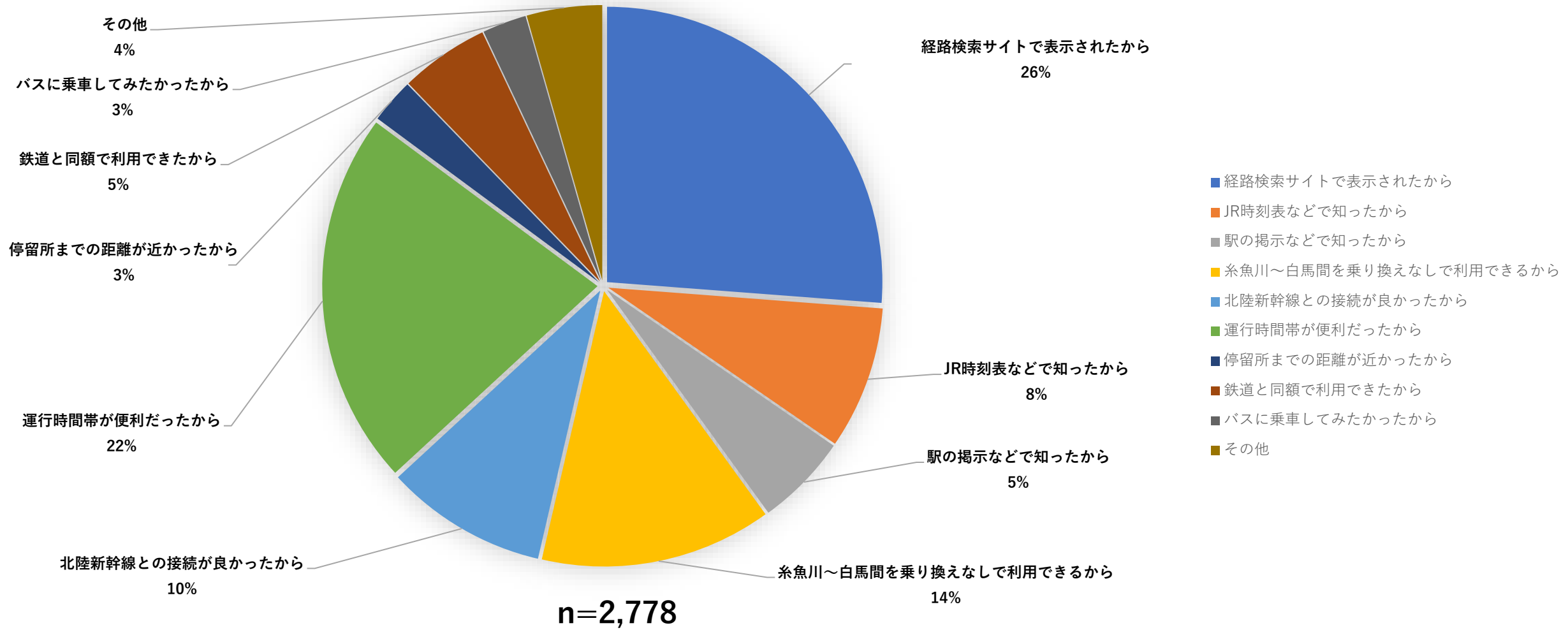
観光やイベント参加等を目的としたご利用が多くを占める

鉄道を選択した理由を教えてください（2つまで選択）



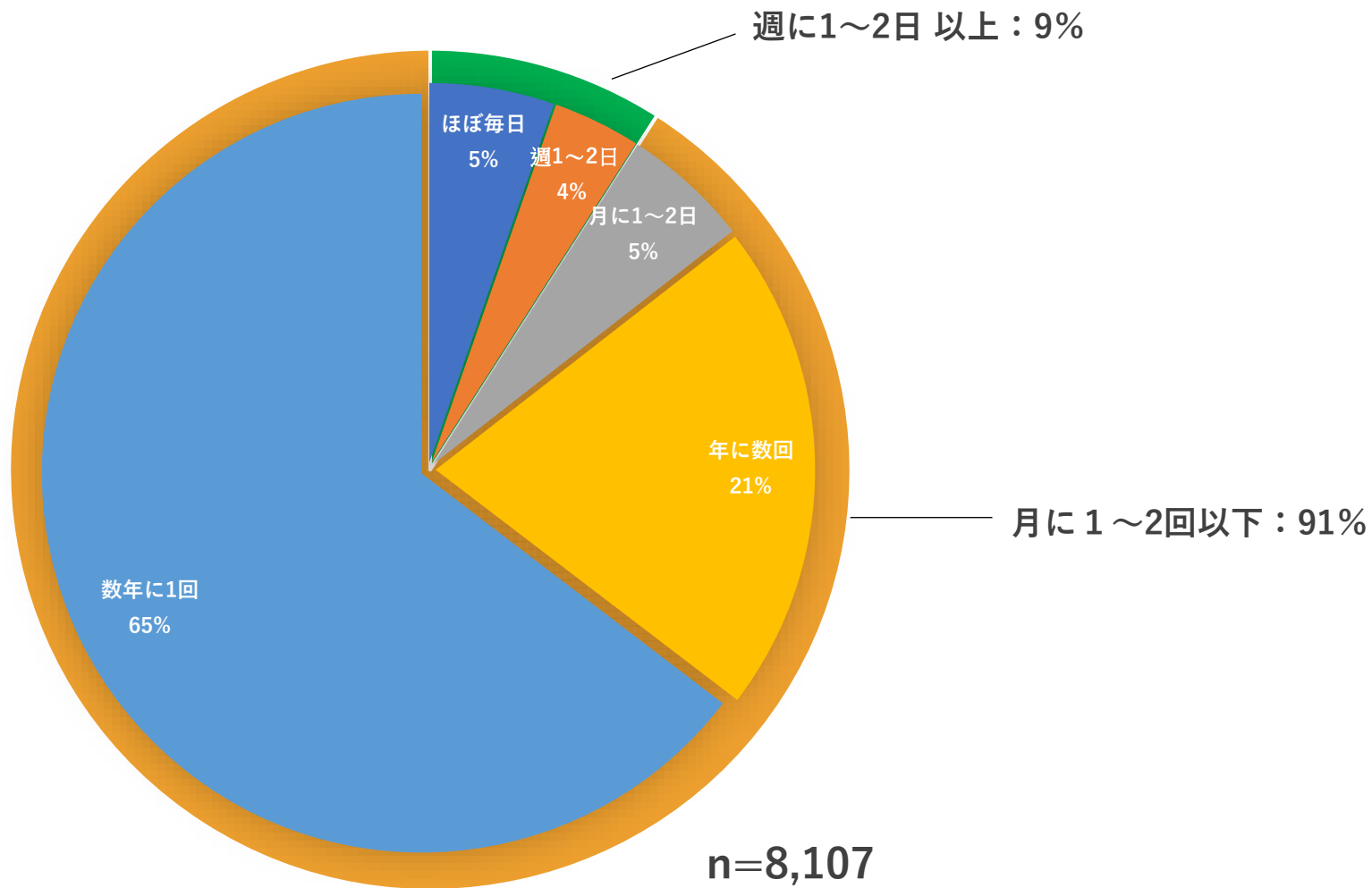
運行時間帯や乗り換えの有無、検索サイトでの表示など、移動手段としての利便性に関する回答割合が高い

増便バスを選択した理由を教えてください（2つまで選択）



運行時間帯や乗り換えの有無、検索サイトでの表示など、移動手段としての利便性に関する回答割合が高い

ご利用の頻度はどれぐらいですか

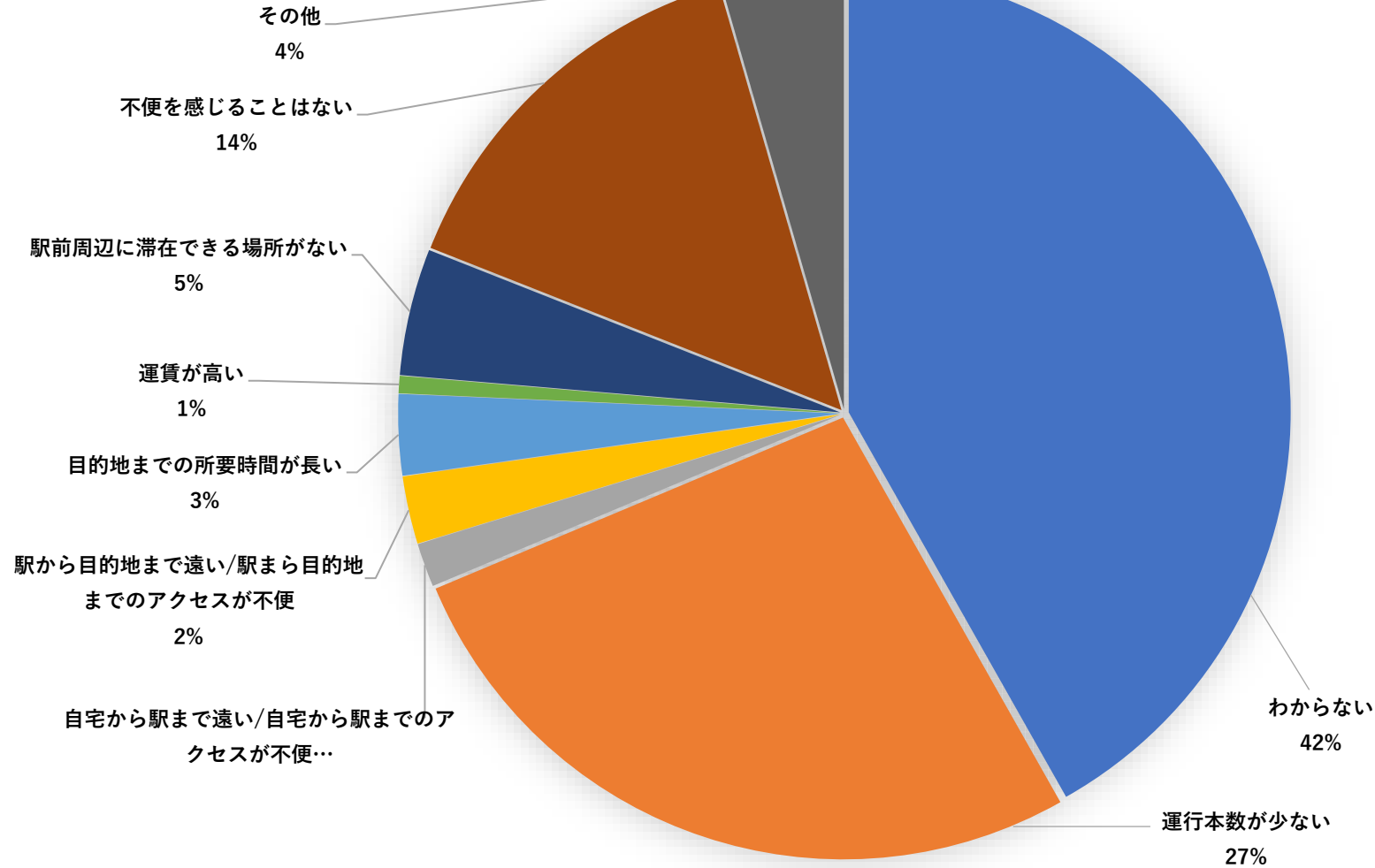


約9割が月1~2回以下のご利用に留まっている

不便を感じることはありますか（3つ選択）

n=7,868（海外からの利用者を除く）

- わからない
- 運行本数が少ない
- 自宅から駅まで遠い/自宅から駅までのアクセスが不便
- 駅から目的地まで遠い/駅から目的地までのアクセスが不便
- 目的地までの所要時間が長い
- 運賃が高い
- 駅前周辺に滞在できる場所がない
- 不便を感じることはない
- その他



「不便を感じることはない・分からない」との回答が半数以上を占める

まとめ

○ 令和7年度実績（4月-2月）は以下の通り

- ・ JR大糸線増便バス：利用者数／11,141名（推計）／1日平均／52.8名、1便平均／8.8名
- ・ JR大糸線：利用者数／7,046名（実数）／1日平均／176.1名、1列車平均／9.3名

○ 自然災害（4月-2月）により、鉄道は345本の運休が発生したが、増便バスの全区間運休は0本

○ インバウンドのご利用が多く見込まれる冬期間の増便バスのご利用として、糸魚川⇄白馬間の拠点間のご利用が多くなる（約80%）ことが顕著に表れた。

○ ご利用者の90%は観光等を目的としており、拠点間の移動が多くを占めた

- ✓ 冬期間（12月～3月）に入り、インバウンドを中心としたご利用が増加し、特に白馬場面でのチェックイン・アウトに繋がる便のご利用が多かった（3便：10:50白馬発、4便：14:00糸魚川発）
- ✓ 一方、2024年度の取り組みと同様、鉄道とバスを併せても、輸送需要の大幅な改善につながるほ
どのご利用には至っていない